

8・28 被災状況

死者	1万5741人（前日比6人増）
行方不明	4487人（前日比90人増）
避難者（8・11現在）	8万3099人

増える国保滞納差押えと非正規社員数

- 8・29 A「国保滞納差押え5倍—37市区4年で、強制徴収が加速」「低所得払えぬ国保料—差押え急増、自治体も苦悩」「震災訓練—変—津波の教訓、漂流者救助で米軍参加—被災地中止続々、復興を優先・今が有事町民避難中…—原発立地10道県、国の見直し待ち」
- 8・29 M「ニュース・争論—検証・イラク戦争支持—断罪でなく政策のために、細谷雄一氏慶応大教授—政策決定者の論理見えぬ、柳沢協二氏・元内閣官房副長官」
- 8・29 「神助さん引退—芸能界『黒い交際』根深く—警察、暴力団排除を加速」
- 8・29 T「除染、英知結集—福島救え！大学チームの挑戦、バクテリア・鉱物・貝殻・総動員」「放射線測定、都立産技研—依頼5倍、被災地とも連携」
- 8・29 H「原発事故の地図お粗末—『震災対応』名ばかり情報収集衛星、近く4機目打ち上げ—機密優先のスパイ衛星」
- 8・29 各紙社説、論説
- A「きょう新代表—政治を前へ進める人を」／「円高と日本—構造改革の糧としたい」
- M「民主代表選、どうする年金・医療—これも『待ったなし』だ」／「石綿訴訟判決—国勝訴でも責任は重い」
- Y「代表選投票へ—民自公合意を白紙に戻すな、『首相の器』であるか見極めよ」
- N「エネルギーを考える—『責めの省エネ』を競争力強化に生かせ」／本

社コラムニスト・岡部直明「核心一『トリプルA』なき世界で、新首相が担う共同責任」

T「民主代表選一『一票』は国民の立場で」／「福島放射能除染一国は住民帰郷へ全力を」

H「無料塾一『学び』と『成長』の場広げよう」

8・29 非正規社員 38.7%の最高更新一厚労省発表『就業形態の多様化に関する総合実体調査』（2010・10）による一従業員5人以上の1万6886事業所とその作業員5万1152人を対象に実施（有効回答率一事務所61.7%、従業員64.7%）／非正規社員の内訳一パートタイム22.9%（全労働者中）、契約社員3.5%、嘱託社員24%（8・30T）

民主代表選一1.2位決選投票の末に

8・29 民主代表選一野田佳彦氏新代表に

<第1回目投票> (投票数 395一棄権 3)

海江田万理	143
野田 佳彦	102
前原 誠司	74
鹿野 道彦	52
馬淵 澄夫	24

<決選投票> (有効投票 392、棄権 3、無効 3)

野田 佳彦	215
海江田万理	177

→8・29 A夕「野田氏勝利首相へ、民主代表選一決選投票、海江田氏を破る一小沢氏批判票集め逆転」／M夕「『国民不在』『身内の争い』一不信どう払拭、民主新代表に厳しい目」

→8・30 A「野田首相きょう指名、拳党体制へ幹事長焦点一民主代表選、

決選で海江田氏を逆転」「小沢支配を警戒結集一野田氏へ2~4位票」「復興増税、実現へ意欲一野田氏、問われる成長戦略一自公、復興協力は維持、小沢氏の影響力様子見」

／M「小沢元代表戦略破綻、野田首相きょう指名一主流派分断失敗、海江田氏『ぶれ』疑念招く」「野田代表政策は一原発再稼働前向き、復興増税に積極的」

8・29 被災状況

死者 1万5745人（前日比4人増）

行方不明 4467人（前日比10人減）

避難者（8・11現在） 8万3099人

●福島高濃度汚染築、34地点（文科省検討会で報告）一6・14時点でチェルノブイリ事故での強制移住基準（1㎡当り放射線セシウム137が148万ベクレル）を超える濃度地区が6市町村34地点（8・30Y）

→8・30A「土壌、セシウム最高3000万ベクレル一福島第一、100キロ圏初の地図一6月、北西方向高汚染」

●福島第1原発の放射性物質拡散試算一15都県に拡散（国立環境研究所のシュミレーションで判明）一3・11~8・29までの計算による／ヨウ素131の13%、セシウム137の22%が降下一セシウム137は静岡、長野、新潟などに高い降下量（8・29A夕）

●北電、プルマーサル計画を1時凍結一泊原発3号機を巡る「やらせメール」問題を受け一近く『やらせメール』問題の調査委員会を設置（8・30A）

●液状化一関東7都県、96市町村で発生一国土交通省関東地方整備局と地盤工学会の共同調査で判明（8・30T）

→8・30 Y「カダフィ政権崩壊1週間一市民生活緩か回復、原油輸出は来月再開へ」

「財界、成長戦略に期待一円高『中小企業は危機的』」「TPP迫られる決断、野田新代表一経済再生へ不可欠、原発再稼働『国が責任』一

株価、『増税』が重しー長期金利は低下」「霞が関歓迎ー財界と関係強化必要

→8・30 T「新代表に野田氏、増税ラッシュ？ー原発再稼働の意欲・消費税も所得税も・円高対策は期待薄」「消去法候補に誤算ー泣きの海江田氏に小沢氏泣く、『3党合意白紙』発言、大きな減点」「脱原発議論素通り、民主・野田代表ー再稼働危ぶむ声、市民ら『新エネルギー推進を』ー被災地は冷ややか、『増税不安』『故郷帰れぬ』」

→8・30 各紙社説、論説

A「野田新代表ー先送りの政治から決別を」／米ピニオン編集グループ・太田啓之「記者有論ー年金破綻論、『幻想』捨て現実的改革を」／政治エディター・渡辺勉「国民と向き合って」

M「野田民主新代表ー『もう後はない』覚悟を」／政治部長・古賀攻「政治に熟成の力を」

Y「野田民主新代表ー世代交代で再生への歯車回せ、信頼構築して大連立の実現を」／森戸幸次氏「論点ーアラブ民主革命、中東和平重大な岐路に」

N「野田新代表は与野党協調で政策実現を」／政治部長・池内新太郎「『前に進む政治』取り戻せ」

T「政策実現、背水の陣でー野田氏代表、首相へ」／政治部長・高田昌也「政治が消え去らぬように」

サ「野田新代表ーやはり早期解散こそ筋だ、信を失った民主党は出直せ」／政治部長・五嶋清「民主の自壊が始まった」

H「裁判権『密約』ーごまかさずきっぱり破棄せよ」

8・30 日債銀粉飾決算事件差戻し審判決ー東京高裁（飯田喜信裁判長）、元会長ら3被告に逆転無罪判決ー「粉飾決算」否定（8・30A夕）

8・30 失業率 4.7%と悪化ー総務省発表の6月の完全失業率、2ヵ月連続悪化／被災3県の失業者数（8・21現在）15万3173人（8・30A夕）

8・30 菅内閣、総辞職一在任期間 449 日 (8・30Y夕)

「脱原発」から『脱原発ノーサイド』の野田新首相

8・30 野田佳彦氏、第 95 代首相に指名一衆院 308 票、参院 110 票、いずれも 1 位 (8・31 各紙朝刊)

→8・31M 「民主人事、幹事長に興石氏一前原氏、政調会長一国対委員長平野氏」「党内融和を最優先、民主党役員人事一野田氏、守り固め一小沢グループは『当然』一『興石幹事長』、自民に強硬論」

→8・31N 『小鳩』配慮、政権に火種一民主幹事長に『小沢系』野党対策に不安一政調会長と閣僚分離一政策、党意向に重みも」

→8・31T 「脱原発まで『ノーサイド』？一『原子カムラ』巻き返しの動き」「新首相発言、募る警戒心一『再稼働へ努力』、最善の策」・輸出は『国際貢献』一『安定感と行動力』財界は絶賛」

→8・31H 「『民自公翼賛体制』に立ち向かう一志位委員長が表明」「政権交代 2 年で 3 人目一野田新首相の素顔、国民『裏切り』の言動一大連立、国民より自公優先／消費税、繰り返し増税明言／外交・安保、『沖縄新基地』推進／原発、『再稼働』ありき／議員定数、『衆院比例定数全廃』が持論」

8・30 被災状況

死者 1 万 5754 人 (前日比 9 人増)

行方不明 4460 人 (前日比 7 人減)

避難者 (8・11 内閣府) 8 万 3099 人

●東電、賠償基準案発表一9・12 目途に受付開始、10・初旬の支払いを目指す (8・31 各紙朝刊)

→8・31A 「原発賠償やっと本格化一東京、9 月 12 日から受付一個人、領収書が原則必要一会社、難しい風評額一同意できぬ場合、国の仲裁機

関・裁判へ」「汚染牛全面賠償に難色一東電、国にも責任と主張」／M
「東電賠償基準一避難者『先見えない』－『自主は対象外』、独自請求
も一畜産農家『検討中』に怒り」

●政府、電力使用制限会を前倒し解除発表一東京電力と東北電力の大口需
要家に発動した制限令（8・31Y）

●「やらせメール」中間報告一東北電でも「動員疑い」（女川原発説明会
で）判明（8・31M）

→8・31T「原発シンポ一やらせ疑惑、新たに5件一調査委中間報告、認
定の3件『不適切』『反対派どう抑えるか』『カギは動員確保』－やら
せ問題、保安院要請メモ生々しく」

→8・31 各紙社説、論説

A「野田新体制一真の『挙党』をめざせ」／「あす防災の日一3・11 大都
市の教訓は」／編集委員・星浩「危機の民主党①一再生か没落か瀬戸
際」／福島総局・大月規義「記者有論一野田新首相に告ぐ、もう福島に
押しつけるな」

M「野田新首相一政治の歯車着実に回せ」

Y「輿石民主幹事長一野田首相の政策実現へ動け」／「日債銀逆転無罪一
旧経営陣行政の責任は残る」

N「成長と財政再建を背負った新首相」

T「輿石幹事長起用一これで政治が進むなら」／「不適切テロップ一放送
の責任を自覚せよ」

サ「野田新首相一輿石幹事長に啞然とする」／「朝鮮学校無償任一どさ紛
れを撤回せよ」

H「野田首相指名一国民の批判に応える姿勢ない」

8・31 被災状況

死者 1万5756人（前日比2人増）

行方不明 4460人（前日比増減なし）

避難者（8・25 現在） 8万2945人（8・11より55人減）

●北電、「やらせメール」動員認める—08・8 経産省主催シンポで動員450人に電子メール送り、参加動員（発表）（9・1M）

→9・1 A「避難所閉鎖、明日が心配—食事・仕事『どうすれば』—岩手ほぼ解消、福島・ビッグパレットも—宮城、なお133カ所」／M「大震災半年—『海の近く危ない』元の場所での学校再開困難、財源なく自治体悲鳴—福島『放射線を警戒』除染不可欠—新築移転、国庫補助の対象外」／Y「生産V字型回復に暗雲、9月2.4%減産—超円高・世界経済減速」

→9・1 T「やまぬ『福島』差別—満室で宿泊無理／1緒に仕事できない／公園で遊ばないで—公的機関へ相談今も、救済手続きためらう県民も」

→9・1 各紙社説、論説

A「野田新首相へ—外交の建て直しを急げ」／「経済活性化へ具体策を」
／編集委員・根本清樹「危機の民主党(中)—政治改革も岐路に立つ」
／論説副主幹・柴田直治「社説余滴—特捜部はもういらぬ」

M「防災の日—想定に縛られぬ備えを」／「原発損害賠償—迅速柔軟に救済を図れ」

Y「選挙制度改革—『1票の格差』を是正する時だ」／「防災の日—『想定外』の被害をなくそう」

N「地震の続発に備え共助の防災を強めよ」／「日債銀『無罪』でも消えぬ責任」

T「『想定外』と決別する—『防災の日』に考える」

H「防災の日—『想定外』に備えることこそ」

三党合意順守確約と財界詣で—組閣に先立つ野田首相

9・1 野田新首相、自公両首相と会談—「3党合意」の順守明言と三党協議機関設置提案—①東日本大震災の復旧・復興②税と社会保障改革③経済対策

の合意を目指す (9・2A)

⇒9・1 経団連を訪問、米倉弘昌会長と会談―野田首相「間断なく経済対策
を実行していきたいので、お知恵を拝借したい」「政府の会議を作り直
すので、出席してもらえますか」／米倉会長、全面的にサポートする姿
勢を強調 (9・2M、Y)

→9・2H「経団連会長から接待―野田新首相、財務相当時の昨年 10 月―
税制論議のさなか」

9・1 被災状況

死者 1 万 5757 人 (前日比 1 人増)

行方不明 4382 人 (前日比 78 人減)

避難者 (8・25 現在) 8 万 2945 人

●福島第 1 原発周辺の放射線量発表 (国の原子力被災者支援センター) ―
警戒区域と計画的避難区域の約 2700 地点 (地上 1m 計算) ―第 1 原発から
約 1 キロの大熊町夫沢で毎時 139MS、北西約 22 キロの浪江町昼曾根で毎
時 41.3MS (9・2A)

→9・2Y「最高線量避難基準 36 倍、政府広報調査―福島立ち入り制限域、
毎時 139 マイクロ・シーベルト」

→9・2N「避難区域の詳細汚染地図―文科省公表、最大は毎時 368 マイク
ロ・シーベルト」

→9・2H「やらせ効果くっきり、北電の国主催シンポ動員―『プルサーマ
ル必要』会場は 64%、住民の認識と隔たり」

→9・2M「漁港に復興格差、再建の行方陰しく―漁協、漁師の体力次第」

→9・2Y「製造業 46%『海外移転』経産省調査―『70 円台』、半年以上続
くと」

→9・2Mタ「ホテル経営再び苦境―被災者の仮設移転進み、福島」「被災
地の授業遅れ、全国 30 大学が援助―講義映像など無償提供『e ラーニ
ング』で自宅受講も、教員派遣も検討」

→9・2 各紙社説、論説

- A 「自民党へ一政策で勝負するときだ」／「避難長期化一生活再建の選択肢示せ」／ヨーロッパ総局・伊東和貴「記者有論一ノルウェー連続テロ、結束し多文化共生へ再び」
- M 「党首会談一まず与野党で復興を」／「電力制限解除一経験を次につなげよう」
- Y 「民自公党首会談一課題解決へ協議機関の設置を」／「電力制限解除一それでも原発再稼働は必要だ」
- N 「T P P参加へ野田新首相に時間はない」／「円高でも重い資源調達負担」
- T 「『脱原発』を堅持しよう一日本の未来のエネルギー」
- H 「シリア人権弾圧一市民への武力行使を停止せよ」

野田新内閣発足一「すり寄り」政権の実態

9・2 野田内閣発足

玄葉光一郎（外務）、安住淳（財務）、平岡秀夫（法務）、鹿野道彦（農林）、中川正春（文科）、小宮山洋子（厚労）、一川保夫（防衛）、鉢呂吉雄（経産）、前田武志（国交）、細野豪志（原発、環境）、山岡賢次（国家公安）、古川元久（国家戦略）、連舫（行政刷新）、平野達男（復興防災）、自見庄三郎（郵政金融）、藤村修（官房）、計 17 閣僚

→9・3 A 「党内融和配慮一「復興と原発最優先、野田内閣発足」」野田流裏に財務省、増税実現へ人事画策一首相、組織力を信頼一入閣外して融和演出、『脱小沢』岡田・仙谷・枝野氏」「新内閣難題の山一増税、まず党反対派の関門一原発、再稼働の方針を明言一経済外交、T P P参加判断急ぐ一震災復興 3 次補正に野党の壁一安保、外交、普天間の打開が急務」『内向き内閣』野党は批判」

→9・3M「復興、原発収束を最優先—野田内閣が発足、増税『現実主義で』
「政策難題どう解決—融和に配慮調整型」「野田内閣—自民、解散要求
変わらず、公明は協力姿勢に傾く」

→9・3Y「野田内閣が発足—増税、時期は柔軟に—原発再稼働を推進、早期
の衆院解散否定」「原発対応が最優先—内政、外交手腕未知数」「岡田氏の
固辞誤算」

9・2 被災状況

死者 1万5757人（前日比増減なし）

行方不明 4313人（前日比69人減）

避難者（8・25現在） 8万2945人

→9・3N「復興・経済再生に総力、野田内閣が発足—危機回避へ財政再建—
首相会見、消費増税で準備法案」「誤算超え融和演出、参院枠に興石色
も—入閣ゼロ、鳩山グループに不満」「復興増税まず関門—与党内調整
が焦点、社会保障・円高対策も急務」「返済猶予後の倒産増加、支援策
の効果薄れる—1～8月、昨年1年間の1.7倍、民間調査—震災関連倒産
300件超える」

→9・3T「野田内閣が発足—原発再稼働を最優先」

「増税に大きくかじ—『財政規律派』を登用、消費税・復興増税—中小
企業対策を重視、円高・TPP」「脱原発加速望み薄、閣僚から探る重
要政策・野田内閣—『再生エネ』に期待、原発・エネルギー—被災地重
視の布陣、復興」「原発『地元無視だ』首相、再稼働前向き—福島の方
省ない—20キロ圏70万人、東海村長憤り」

→9・3サ「野田首相も外国人献金、民団関係者らから30万円」「早期の解
散否定、野田内閣が発足—一体改革来春までに法案／靖国公式参拝せず—
基本政策での不一致懸念」

→9・3H「どこを見ているのか野田新内閣—財界と、TPP・消費増税で
直結—自公と、『翼賛体制』づくりに躍起—米国と、『同盟深化』へまい

進」

→9・3 各紙社説、論説

A 「野田新内閣スタートー『合意の政治』へ進化を」／Globe 編集チーム・青山直篤「記者有論ー大切な眠り、皆が熟睡できる社会を」

M 「野田内閣スタートー政治の総力を結集せよ」

Y 「野田内閣発足ー国難乗り切る処方箋を示せ、『鳩菅政治』からの決別が急務だ」

N 「新内閣は一丸となって課題に取り組み」／経済金融部長「衆知集め空転に終止符」

T 「ドジョウは働いてこそー野田内閣スタート」

サ 「野田内閣発足ーこれで前に進めるのか、国家再生より融和優先では」

H 「野田政権発足ー『挙党』『翼賛』で国民がない」

9・3～4 台風12号、紀伊半島中心に猛威

→9・5 A 「台風24人死亡54人不明ー紀伊半島、土砂崩れ・氾濫ー湿った空気近畿に集中」「濁流猛威、堤防整備着手まだー紀伊半島、有数の多雨地帯」「突然土砂『あかん』ー豪雨、救助の行く手阻む」

9・3 被災状況

死者 1万5760人（宮城9438、岩手4653、福島1603ー前日比3人増）

行方不明 4282人（宮城2285、岩手1748、福島245ー前日比31人減）

避難者（8・25現在） 8万2945人

→9・3 A 夕「除染首都圏動く、校庭の土入れ替え／側溝を清掃ー自治体、不安の声受けー除染目標設定、住民も参加を」／M 夕「悪質震災商法ご用心ー『老人ホーム被災者殺到』『風力発電未公開株ー全国で相談相次ぐ』

野田内閣の支持率—ご祝儀相場にすぎないか

→9・4

世論調査

A「野田内閣支持 53%—政党支持、民主 31%、自民 17%」「民主支持V字型回復—挙党体制奏功に安堵、民主—『ご祝儀相場』と静観、野党—伸びぬ自民危機感—自民支持層も野田内閣好感」

M「野田内閣支持 56%—元代表処分、見直し不要 75%」「野田内閣、自民支持層も期待—保守色、拒否感薄く」

Y「野田内閣支持 65%—融和人事『評価』71%—歴代5位、発足時」「政策実行へ世論追い風—内閣支持65%、党内融和の維持カギ—自民支持層も61%支持」

N「野田内閣支持 67%—民主、自民を逆転—復興増税『賛成』63%」「与野党協力『幅広く』52%、政策の着実な実行求める—『小沢元代表と距離を』65%支持」

T（共同通信社）「野田内閣支持 62%—民主 27%、自民上回る—混乱收拾国民に期待感」「内閣支持率『好スタート』首相、主導権確保図る—野党は失態追及手ぐすね」

→9・4A「核燃サイクル停滞—プルサーマル稼働に逆風—燃料確保も難題」
「いつか帰るため—思うほど減らぬ線量『じれったい』、浪江町ルポー除染手つかず」

→9・4N「政官民で『国家戦略会議』、首相方針—経済財政司令塔に、日銀・経団連幹部ら参加」「『停滞3ヵ月』政策日程過密—国際会議、円高抑止、週末にG7位G論—税財政、消費増税案、年末にも」

→9・4H「民主的学者排除リスト—日本政府、原子力推進の『障害』と—54年『極秘』報告書、日米が共同で画策」

→9・4 各紙社説、論説

A「電力制限解除—節電の夏を次に生かせ」／「2020年夏—五輪をまた呼

ぶのなら」／ニューヨーク支局長・山中秀広「ザ・コラムー同時テロ 10
年、ブッシュ氏の『エリートパニック』

M「野田政権の課題ー『減原発』の道筋着実に」／「借金頼みからの脱却
を」

Y「財政健全化ー消費税率引上げへの道筋を、先送りは国家の信頼揺るが
す」

N「事故収束と除染を強力な体制で進めよ」／「資金だけではリビア安定
せず」／論説委員長・芹川洋一「野田政権①ー日本再生今度こそー治め
る力取り戻そう」

T「漂流する『樽舟政治』一週のはじめに考える」

サ「外国人献金ー首相は説明責任を果たせ」／「外交・安全保障ー防衛相
発言では国守れぬ」

H「『ミスター増税』ーますます広がる国民との矛盾」